発行 府中市消防団 編集 府中市消防団広報委員会 (府中市行政管理部防災危機管理課內` \TEL 042 • 335 • 4068,

運輸通信業 5.3%





消防署震災図上訓練の見学



制 に あ

り

府

中

-市消防団

長 本 阊

郁浩

俊

夫消

防

任

拶

市 合

水 防 訓



機関員操縦訓練

長わ間長はいた謝をれ団、じて。状にました。

辞新格式

全入さが 交団れ行

付員たわ

はした。そして記した。

室団(土

行が、

わ市府れ役中

式

かのめ市団め年 き有訓内定験操のしてる震実うから してす財を民防起域各末春種 生で相年ら充、の員各度結ま効練容概場縦向たいた災動参らなまてのる産図の止す住分特と訓我し全次に入事参らなまな安の分昇びすがあるに割上りるめ、消訓集新いたと責にの当時をは、というないでは、というないが、というないは、というないが、というないは、というないが、というないは、というないは、というないは、というないは、というないは、というないは、というないが、というないは、というないは、というないが、といいが、というないが、といい がに分れ まへよ授団3が し北消 行本団、続し感り与員月行また庁防4 わ間長はいた謝、、へ31わず。舎団月 れ団、じて。状退佐感日れ、 会入日 まため、 の団藤財行高に



府中市消防署長

て上様の心となってというできていたできているかられたというできているとなってをいってないできないできないできていたでは地になってをいっては、一点をでは、

団とへの退わ来 回式でした。

図式でした。

図式でした。

図式でした。

図式でした。

図式でした。 入期方かれ年 退待々らたに

状の授与が行われ とでででいる。 はじめにというでは、 高野市長より、 はじめに退団式

分団長への辞令交付



マンホール噴出防止工法

第15分団に15年前第15分団に15年前第15分団に15年前第15分団に15年前が以前よりにます。また、従来など、以前のポンプ車にとます。ます。また、従来など、以前のポンプ車におりました。ます。また、従来が小さくなった分が小さくなったがかった装備が多くがかった装備が多くがかった表情が以前よりました。ます。また、従来など、以前のポンプ車におりました。ます。また、従来なりました。ます。また、以前のポンプ車におりました。ます。また、以前のポンプ車におりました。また、以前よりは、15年間が以前よりは、15年間が以前よりでは、15年間が以前よりでは、15年間にはは、15年間には ………、バックモニにめの台車)の自動 た、従来に比べ車体側が多く備わっていりのポンプ車にはなきを表示するパネル 放水までに要する。空ポンプが装備さ 代変わりました。1日、新たなポンプ車のあるポンプ車回に15年前に配備 た。さらに、よりった分、運転し易 /点までホー より短縮されまし プ車には、 さらに、 レン・アン ホ

ともに、火てるよう、

火災予防、火災・災つ、新たなポンプ車とンプ車以上に愛着を持

旧ポンプ

をご報告させていただきまし

がけていきたいと思います。 害時の迅速で安全な行動を心

第 15

分団広報委員



第1・9・15分団の新型消防ポンプ車

。15分団の消防ポンプ車が新しくなりました 速な活動が可能になったこと用についてご説明し、より迅地域の皆様に新たな装備や運

1 新入団員規律訓練

たき、この度入団すり、そんな折、子供に住み始めてからいになりますが、子供り、そんな折、子供り、そんな折、子供り、そんながらず、からいになりますが、からいになりますが、 回に入団しましたほど年度府中市消防の

ス団して間もなく、大國神社境内で行われた新入団員規律訓練に参加しました。訓練では、服装のチェック、整列の仕方をを表本的なことを対象えていただきました。普段の生活でだきました。普段の生活では、正副分団長研修もせていて、見ていて、を見しての大が、を見いないとしてが、としていて、様子を見ずる時間もありましたが、とれる時間もありましたが、といっないものないものないものないものないでした。同会をいったが、といっないものとしてのような訓練や活針をいって、様子を見いたが、といっないといったが、といっないといった。

員

寸

拶

前第 16 分団長 市川 長司

る喜びや楽しみも沢山あり、素晴らしい団員達に恵り、素晴らしい団員達に恵り、素晴らしい団員達に恵が、地域の防災活がますが、地域の防災活がますが、地域の防災活がますが、地域の防災活がと思っています。 ありがとうございました。ありがとうございました。ありがとうございました。 見達に恵る記述の き活ごこ



前第 10 分団長 青島

な対感の震 申た多会諸続来 出すじ重災平しかくの先け、平成

祈様市いしそすよ年がはそならり方消までのるり間出 へのもの



前第4分団長 田中 秀彰

あに つな防やは経こき々団



前第 1 分団長 **粕川** 幸貴

員も広日空 6.1.1 皆あ報本台在しは、員り回まり だいき大風団た、分を17いし成 の 1714年たて29 皆あ報本台仕した、分を1/いしる がり活大風団た、分を1/いしる 協ま動震、中。大団は年たて29 力しな災大は 変0じ間し府年 おBめ、ままり 変して、 おBめ、まいた サの、第し市月 話諸地1た消末 に先域分。防日 な輩の団入団を が防な戒てや ら団事や東大 り方皆の団をも

> ましい躍団すて地培し活した間をの。い域つ今た動た。これでも見るのも後。ま °大願さ最このた後 ができ いま長活防まし

> > (団本部)





副団長 川崎 好之



副団長 中田和夫 昭和60年4月1日入団



志村 誠 平成元年 4 月 1 日入団 (団歴 28 年)



一男 平成7年4月1日入団 (団歴22年)



小場 淳吾 昭和57年4月1日入団



大久保幸 昭和 58 年 4 月 1 日入団 (団歴 33 年)



本間 郁浩 昭和63年4月1日入団 (団歴28年)



第1分団長 田中 **告宜** 平成14年4月1日入団



第9分団長 菊池 伸明 平成9年4月1日入団



第8分団長 杉山 良輔 平成11年4月1日入団



第7分団長 佐藤 和正 平成7年10月1日入団



第6分団長 比留間 康夫 平成10年4月1日入団 (団歴19年)



第5分団長 村井 雅· 平成5年4月1日入団 (団歴24年)



金井淳 平成15年4月1日入団





第2分団長



砂 石

廣

至敬彰

倉

克 征 隆

晴



野口 英一郎 平成9年4月1日入団 (団歴20年)

秀幸



第 18 分団長 坂本 裕康 平成8年4月1日入団 (団歴21年)

四部広報委員 第13分団

越 鈴

智

大髙

才

松

第17分団 第10分団

伊 出 加

藤

第9分団 第8分団

部

直昌祐盛貴良直一俊宏一満也弘太敏紀輔樹郎介幸郎

辺 Щ 本



丸山 平成7年4月1日入団 (団歴22年)



第 16 分団長 市川 智則 平成13年4月1日入団 (団歴16年)



第15分団長 矢ケ崎 勝彦



知久間 亮昌 平成6年4月1日入団 (団歴23年)

第10分団 年以

(団) 今 井 貴 也

平成

29年新入団員

副 会 長副団長

堀

仏報委員長 第5分団

堀 志



大木 弘 平成7年4月1日入団 (団歴22年)

第4分団 12

汽上12年未満



粕谷 和男 平成7年4月1日入団 (団歴22年)

第16分

賢晃長晃正

司

玉 鈴

利

川田木

第16分団

有 市

川働



第10分 第8分 第6分

青

島

章 弥

海老澤 拓馬

第一分 団された皆さん 対続 4年以上で

第6分団 第4分団 永半古種市内松林山石竹 河 金村飯石秋山 内 城 橋 内 川坂川田本 健 太健俊大賢 晃 彼 雪 高 優 翔直 哉也学一方利彰介柊太行郎 幸介

中部広報委員 第7分団

秋 榎

第6分団 第3分団

慎

田代

東部広報委員 第1分団 西部ブロック長 第12分団 中部ブロック長 第11分団 衆部ブロック長 第4分団

雄

永井

河内

賢 拓 辰 成 一二郎 徳 典 誠 男

第2分団

 \blacksquare 榎 原

中 本

広報委員会名簿 長団 長 本間



章

第4分団 広報委員

少ないですが、地域防災の鍵を市民の皆様の目に触れることが練や災害時の活動は、なかなか 豊富な先輩方が退団され、今後 よう、広報活動にも力を入れて度も多くの入団希望者が現れる いきたいと思います。 の意義を知っていただき、来年 て、一人でも多くの方に消防団 思います。 握る、やりがいのあるものだと ばと感じています。消防団の訓 練度を高めていかなけれ 消防団だよりを通し

